

令和6年度 食品ロス削減 推進表彰

募集
期間

2024

5/31(金) - 7/31(水)

2024

7/31(水)

暮らしの中で実践できる食品ロス削減の取組を
始めたきっかけはなんでしたか？

皆さんがやってみようと思う、人に勧めてみようと思う、
そんな「食品ロス削減」の活動を募集しています。

地方公共団体、企業、団体、学生など様々な方からの応募をお待ちしています。

ABOUT

食品ロス削減推進表彰とは？

食品ロスの削減に効果的かつ波及効果が期待
できる優良な取組を行った方を表彰する制度で
す。これにより、食品ロス削減を広く国民運動と
して展開していくことを目的としています。

応募いただいた内容は食品ロスの削減に関する
有識者などで構成する「食品ロス削減推進表彰
審査委員会」において、選考基準に基づき審査
します。

ENTRY

応募方法

専用の推薦書様式を下記の二次元コードまたはURLよりダウンロー
ドし、必要事項を記入の上、添付書類を添えて、下記メールアドレスへ
ご送付ください。メール受信をもって応募とさせていただきます。

【応募メールアドレス】 hairi-recycle@env.go.jp

■専用の推薦書様式はこちらから

送付する際は、ダウンロードしたエクセル形式にて
お願いいたします。

https://www.env.go.jp/recycle/food/commendation_R6.html



主催



令和5年度の受賞者

詳細はこちら



https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/food_loss_award/2023/winners_introduction/index.html

大臣賞

mottECO 普及コンソーシアム2023

外食及びホテル事業者、自治体の計7者が協働し、mottECOを推進する取組。事業者と自治体が連携することで発信力を高めるとともに、社会全体の課題を地域課題に落とし込んだ自治体単位の面的な成功事例を創出し、他地域への拡大まで見据えている。



大臣賞

オイシックス・ラ・大地 株式会社

生産、流通、使用段階を含めた、サプライチェーン全体での資源循環の実現に寄与。畑と食卓の需要データマッチングによる独自のサブスクリプションモデルを国内宅配事業において構築するとともに、ふぞろい・規格外野菜などの販売促進、食材使い切りサービス（ミールキット）、廃棄食材のアップサイクル商品化を実現。



生活協同組合コープ こうべ

店舗で生じる販売不適食品等のフードバンクへの提供、フードドライブの常時受付、販売期限の日数延長や発注精度の向上による店舗由来の食品ロス削減等、多様な取組を展開。中でも、店頭でのフードドライブ、「てまえどり」の呼びかけを他に先駆けて実施した。



カネハツ食品株式会社

2020年12月より、自社や同業他社の出荷期限を過ぎた食品を集め、子ども食堂への食料支援活動を実施。中間支援団体や配送業者と各地区で最適な配送システムを構築し、県内をはじめ、東京都や大阪府等各方面に1.5万〜2.0万パック/月の食料を支援。



株式会社 Mizkan Holdings

家庭から発生する野菜の廃棄削減を目的に、余らせがちな野菜や、皮や芯などのはみだし野菜もおいしく食べきるオリジナルメニューを開発。商品包装を通じた情報発信など、自社の強みを活かした方法で「消費者の行動変容」を促している。



マルハニチロ株式会社

マルハニチロ・物流業者・フードバンクかながわの三者連携により、冷凍食品の持続的かつ効率的な寄付スキームを構築。輸入冷凍食品の抜き取り検査後の端数品などを寄付可能品として物流会社倉庫にて保管し、フードバンクかながわの保冷库へ運搬・冷凍コンテナで保管後、支援を必要とする方々へ届けている。



表彰

環境大臣賞	1点
内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞	1点
環境事務次官賞	2点以内
消費者庁長官賞	2点以内
食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長賞	4点以内

令和6年度食品ロス削減推進表彰審査委員会委員

浅利 美鈴 総合地球環境学研究所 教授
石川 雅紀 敬啓大学 学長補佐・特任教授
小林 富雄 日本女子大学家政学部 教授
食品ロス削減推進会議 委員
ドギーバッグ普及委員会 委員長

崎田 裕子 ジャーナリスト・環境カウンセラー
全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会 会長
増田 悦子 公益社団法人全国消費生活相談員協会 理事長
山川 肇 京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
(五十音順、敬称略)